

**「首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会」
アンケートでいただいた自由記載のコメントについて**

内閣府 沖縄総合事務局

令和5年3月23日に開催しました「首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会」で実施しましたアンケートについて、自由記載でいただいたコメントについても、以下のとりまとめましたので報告いたします。（※個人情報に関する記載は事務局にて削除しています。）

【報告会全体について】

- ・ 令和の正殿の完成を楽しみにしています。本日はありがとうございました。
- ・ 平成の復元との対比など、資料の作り込みが分かりやすくよかった。各委員の報告内容もつながっていて理解が深まる内容でした。
- ・ これまでの経緯、今、がんばっていることがわかってとてもためになった。
- ・ まだまだ勉強不足の私にはすごく良い機会になりました。今後も積極的に参加し、首里城の復興はもちろん、歴史も含め、学んでいきたいと考えます。
- ・ おつかれ様、勉強になります。
- ・ プレゼンのビジュアルデザインはよく工夫されていて理解しやすかった。
- ・ 各説明ともポイントをついて又、コンパクトな説明で大変良かった。
- ・ 当初、想像していた以上に変更点があることにおどろきました。先生方のご尽力に感謝いたします。今後も大変かと思いますが楽しみに復元を見守りたいと思います。

令和5年3月23日に開催しました「首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会」で実施しましたアンケートについて、自由記載でいただいたコメントについても、以下のとりまとめましたので報告いたします。（※個人情報に関する記載は事務局にて削除しています。）

【報告会全体について（続き）】

- ・ ①復元に向けての進捗状況が大変良くわかりました。②各専門分野の方々の報告も解りやすく良かった。大いに勉強になりました。
- ・ 素人の私ですがすばらしい専門の方々がかかわって出来る首里城（令和の）が一日も早くみられることを期待しております。委員長、委員の皆様、ご苦勞様。
- ・ がんばって下さい。
- ・ 全体的に各々の分野で説明いただき大変よかった。特に映像を添えて説明されたことは分かりやすくよく理解できた。
- ・ このような報告会が開催されてたいへんよかった。
- ・ 伊従委員、安里委員の報告内容が印象に残る。（フランス海軍）（久志間切り）
室瀬和美委員の久志間切り弁柄、しぶい内容、目玉です。
高良倉吉委員長のひと言がありました。私の先祖は最後の王府に勤めていましたが、何も残っていません。
系図はあります。

令和5年3月23日に開催しました「首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会」で実施しましたアンケートについて、自由記載でいただいたコメントについても、以下のとりまとめましたので報告いたします。（※個人情報に関する記載は事務局にて削除しています。）

【運営について】

- ・スムーズな運営で良かった。
- ・質疑応答について、口頭でMCとパネリストのやりとりだったので質問の詳細が分かりません。特に複数の質問が出た際は覚えられないため、どの質問に対する回答なのかわからず困惑した。学術的な内容を含むため質問が見えた（把握できた）方が良い。
- ・報告会も一方通行で見ざる・言わざる・聞かざるで頑なでは？やったとの実績づくりにならないように！開催したことには敬意を表します。
- ・申し込みと同時に資料を送って頂ければ事前に詳しく調べ（或いは資料をよく読み込んでからのぞむと理解が深まるかと存じます。専門分野の説明が特に参考となりました。

【根拠資料について】

- ・寸法記、尚家文書、発掘遺物、古写真、古絵図も併せてトータルでみてちぐはぐな点がみえた。主張するだけで時代背景等からみても不十分な点がみえる。今後に於て、しっかりした内容を示してほしい。

令和5年3月23日に開催しました「首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会」で実施しましたアンケートについて、自由記載でいただいたコメントについても、以下のとりまとめましたので報告いたします。（※個人情報に関する記載は事務局にて削除しています。）

【沖縄県との連携について】

- ・ 令和の防災対策と、平成の復元との相違点、現在復元に向けた研究が進んでいることをよく理解できる良い報告会でした。質疑応答も丁寧（しかも簡潔に）回答して頂き、分かりやすかったです。でも文面だけでは質問の意図が伝わらないところもあったのかな、本当に答えて欲しいところがうまく聞けないのかなということも思いました。沖縄総合事務局と、沖縄県の復元への取組（未来基金の活用や人材育成、首里杜構想成果）についても発表・報告会があればぜひ行きたいです。
- ・ この技術的報告会は、国の復元事業部分についてのようですが、県が担当する復元部分と合わせた全体像がイマイチ明確にイメージ出来ていません。国と県が連携して行う首里城復元事業ですので、全体像を県民が把握できる何らかの進捗資料なども提供してくれると有り難いですね。

令和5年3月23日に開催しました「首里城復元に向けた技術検討委員会 第2回報告会」で実施しましたアンケートについて、自由記載でいただいたコメントについても、以下のとりまとめましたので報告いたします。（※個人情報に関する記載は事務局にて削除しています。）

【彩色について】

- ・ 今後も報告会は開催して戴きたい。首里城について、分かっていないことも教えてほしい。鎌倉写真では色がわからないが首里城の色は最大の謎です。
- ・ 平成復元時と朱塗の色合いが変わるとのお話があり、首里城の印象が大きく変わりそうである。インパクト等、技術的知見の元、県民に対し、このような機会を利用し、説明をしてもらいたい。過程が分かれば皆、納得すると思う。南殿大広間の復元は利活用を含めとても楽しみである。
（二条城の王政復古の再現が思いおこされた）

【防災について】

- ・ 防災関係はやはり、「人的」な領域を大切にすべきだと意を新たにする。
- ・ 防災の面での見直しは最も大事なことだと思います。

【北殿・南殿等について】

- ・ 今回の復元で南殿がよみがえる事に大きな期待を感じています。その活用方法を含めて又、首里城の魅力が増えます。